

Society 5.0の推進と 政府研究開発投資目標の達成に向けて

平成 2 9 年 5 月
内閣府政策統括官
(科学技術・イノベーション担当)

「Society5.0の推進と政府研究開発投資目標の達成に向けて」(平成29年4月21日総合科学技術・イノベーション会議決定)

- ◆ 科学技術基本計画に掲げられた**政府研究開発投資目標を達成できていない**のが現状(第2期～第4期)。
- ◆ 「Society5.0の推進と政府研究開発投資目標の達成に向けて」は、**投資目標(対GDP比1%)の達成に向けた具体的な道筋**を総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)として決定したものの。
- ◆ 具体的には、過去15年間でほとんど増額できていない**科学技術関係の当初予算を今後3年間で飛躍的に増額**。その際、**SIP事業との二本立て**で相乗効果を発揮させる「**科学技術イノベーション官民投資拡大推進費**」(新型推進費)についても**適切な規模の予算を確保**。
- ◆ **産業界(榊原 経団連会長)**として同CSTI 決定を歓迎するとともに、それを踏まえ、**民間の研究開発投資の対GDP比3%を目指し拡充の努力**を政府と歩調を合わせて行うことを表明。
- ◆ これにより、第5期科学技術基本計画における**官民研究開発投資目標(対GDP比4%)**の達成を目指す。
- ◆ **安倍総理より、関係閣僚は、同決定に従って、第5期計画では確実に目標を達成できるよう、研究開発投資拡大に向けた努力を行う旨、指示。**

対GDP 1%達成に向けた具体的な道筋

STEP1 CSTI ⇒ 各府省における検討要請

CSTI として、各府省に対し、平成30年度概算要求に向け、科学技術イノベーション事業の積極的な検討を要請(既存の事業に科学技術イノベーションの要素を導入することによりSociety 5.0の実現を目指す(=科学技術イノベーション転換(参考1))のものも含む)

STEP2 CSTI による事業の特定

CSTI は、各府省の概算要求のうち、新たに登録されたものの中から、科学技術イノベーションに資することが見込まれるものを特定

STEP3 予算編成過程での重点化(財務省と連携)

CSTI は、特定された事業に**予算編成過程において重点が置かれるよう財務省と連携**。

これにより、政府予算案において、**政府研究開発投資の目標(対GDP比1%)の達成**を目指し、**所要の規模の予算**(参考2)が確保されるよう努力。あわせて、新型推進費も適切な規模の予算を確保するよう努める。

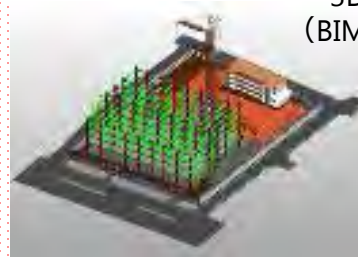
参考1：科学技術イノベーション転換

既存の事業であっても、新たに科学技術イノベーションの要素を導入することにより、「科学技術イノベーション指向の事業」に転換。

(= 科学技術関係経費の定義を変えることなく、新技術の活用等、科学技術関係事業への転換を促進する趣旨)

例：事業計画の選定に当たって新たな技術の導入を要件化。
当該事業を新技術の社会実証の場に変化させる。

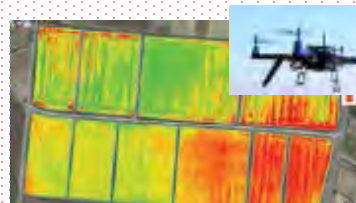
(イメージ例)



3Dモデル
(BIM/CIM※)



自動農機



ドローンによる田畑のリモートセンシング

※ BIM : Building Information Modeling
CIM : Construction Information Modeling

参考2：対GDP比1%の達成を目指した所要の規模の予算

(内閣府試算)

科学技術基本計画の最終年度である**平成32年度**において、政府研究開発**投資対GDP比1% (6兆円)**を達成するためには、平成32年までの**3年間で9,000億円の予算増 (毎年度約3,000億円の増額)**が必要。

